



ては單に關稅問題に止まらず、通商航海條約の改正をも行ふの要あるを思ふものなり、何となれば支那の現狀は義和團事件終結當時の狀態に比して一大變革を來たしたればなり、今の支那の財政が頗る危險の有様に在るの際、今日に最も適應したる列國の態度を明白にし、茲に新條約を締結し以て、支那の財政上の獨立と領土の保全を目的とし、支那をして世界の最大市場たるの實を擧げしめ、列國は列國として此の通商貿易上支那を利し列國をも利するの道を講ずる事更に大切な問題にして、これ我等の今日痛切に感ずる所の問題なりとす。

今日、如く其の日、わがしの財政状態にある支那は頗る危險なるものなりとして支那の財政上の獨立と領土の保全を目的としたる政策を列強をして採らしむるに盡力するは我等日本人の有すべき天職

### 主要記事

## 昨年度上海貿易 (五)

### 重要輸入品の昨年度狀勢

前號に於て上海に於ける重要輸入品の過去十年間の狀勢を示したるが、本號に於て昨年度の貿易高に基き國別明白なる輸入品の比較を示さんとす。

### 棉布類

(一) グレー、シャーチングス

本品は上海關報告に基くに分類して、四となす、即ち七封度及以下の品、七封度以上九封度以下の品、九封度以上十一封度以下の品、十一封度以上の品これなり、而して第一の分には日本品あり、第三の分にもあれど第二及び第四の分には日本品の輸入を見ず、而して第二及び第四の分は主として英國品を多量に見居れり今第一及び第三の分に於ての比較を示さんとす

(甲) 七封度及以下の品

英品	本國よりの支那各地より高	外國(再輸出品)支那各地より高	支那各地より高	上海への純輸入高
棉布	三、一七五七反	六、五五反	一、六〇〇反	四、九〇七反
日品	四、四二反	一、〇〇反	四、九〇七反	四、九〇七反

たるにあらざるが、我等は今支那の關稅問題を論じ來りて、側道に言及したるが如きも實は然らず、我等の云はんご欲する所は即ち日本商人諸君は早晩來るべき此の稅率問題の研究を怠るべからざるべき事、寧ろ進んで其の所見を當事者に致すべきを讀み次第にして、これと同時に支那の現狀に適應する處置について日本は其の主張を明確に定め列強と共に支那の財政上の獨立と領土の保全に關する良法を講究し、之を實行するに盡力するの天職を有するを云はんご欲するものなり、世界の列強は已に支那共和國を承認せり、既に之を承認せる以上は支那をして國家として存立し得るの道を指導するの義務を有する次第なればなり、徒に空言以て支那共和國承認の祝詞をのみ呈して可なりと云ふものならんや、

右によれば日本品は單に上海に純輸入され、英國品は頗る多量に輸入せられしも、盡く他に再輸出されて上海には殘留せざりし事を示し居れり、

### (丙) 九封度以上十一封度以下品

米品	六、七〇五反	二、二五三反	一、二七〇反	三、〇〇〇反
英品	二、四九三反	一、七〇九反	三、三〇六反	一、九六六反
印品	七、四三三反	五、七〇七反	二、〇五五反	四、四四八反
日品	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反	三、〇〇〇反	四、七〇〇反
米品	一、二二二反	九、〇〇〇反	一、〇〇五反	五、二五五反
英品	四、四七七反	三、九二二反	七、六〇〇反	一、九三三反
印品	七、〇〇〇反	四、二〇〇反	二、六〇〇反	一、九三三反
日品	三、〇〇〇反	三、〇〇〇反	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反
米品	一、二二二反	三、〇〇〇反	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反
英品	二、九二二反	四、二〇〇反	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反
印品	三、〇〇〇反	三、〇〇〇反	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反
日品	三、〇〇〇反	三、〇〇〇反	一、〇〇〇反	三、〇〇〇反

### 大倉組

上海九江路第拾七號

電話 輸出會計 二八〇六  
輸入倉計 二八八六  
支店長室 三〇〇一四

支店及出張所 大阪、橫濱、橫須賀、神戸、吳門、佐世保、舞鶴、沼津、京城、臺北、臺中、打狗、天津、漢口、上海、大連、北京、倫敦、紐育、漢堡、濠州、

### 日清汽船株式會社

上海出帆(漢口行)

每週木夜半浦東棧橋ヨリ發  
每週土夜半郵船棧橋ヨリ發

上海支店 黃浦灘路第五號

電話 浦東棧橋四七四  
監督 一八七四  
內河 一〇八七

漢口宜昌線 一ヶ月六回  
漢口湘潭線 一週二回  
漢口常德線 一週一回  
九江南昌線 一月三回

(四)ドリル・ス  
本品を二種に分ちて、甲を十二封度四分の三以下のもの及び以上のものに區別しあり  
り兩品とも日本品の輸入あり左に他國品に比較せんに  
(甲)十二封度四分の三以上の品

米品 五〇〇〇反 二〇〇〇反 八四、三五反  
一八九、五三兩 七〇〇〇兩 二七、三四兩  
蘭品 一八九、五三兩 七〇〇〇兩 一、三三兩  
一、三三兩 一、三三兩 五、一〇〇兩

英品 八、八七反 一、五〇反 三、一六反 五、五五反  
四、四七兩 一、五〇反 一、五〇反 一、五〇反  
日品 一、七五反 一、七五反 一、七五反 一、七五反  
一、七五反 一、七五反 一、七五反 一、七五反

米品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

蘭品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

英品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

印品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

日品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

米品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

蘭品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

英品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

印品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

日品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

米品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

蘭品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

英品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

日品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

米品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

米品 一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反  
一、六七、三三兩 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反 一、七〇、七〇反

蘭品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

英品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

日品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

英蘭兩國品の競争にして米國品もあまり振はず日本品又た頗る微々たるを見る  
(六)テイ、イー、クロス

本品を分ちて三となす、第一は三十二インチ幅二十四ヤード物、第二は三十六  
インチ幅二十四ヤード物第三は三十二インチ幅四十四ヤード物而して第一の分に日本  
品を見他には見す即ち左に他國品と比較せんに  
(甲)三十二インチ幅二十四ヤード物

蘭品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

英品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

印品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

日品 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反  
一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反 一、二〇〇〇反

本品亦た英國品最も多き次に日本品なるを居り而して(乙)及び丙につ  
いて見るに(乙)は英國品のみにして、(丙)は蘭、英兩國品なるも英品頗る多量なるに  
蘭品は少許の輸入を見居れるのみなり  
(七)型付棉布類

本品各種の内日本品を見るに三十ヤード以下の木棉縮あるのみ、而して日本品は  
二十インチ幅のものなりとあり、今左に數量を示さん、日本品の輸入頗る少量な  
るを知るべし、

外國品 五九、三三反 二四〇反 七五反 五五、三三反 四三、三三反  
四、三三兩 五八兩 一、三三兩 二、七九兩 一、三三兩

日本品 八〇ヤード 八〇ヤード 八〇ヤード 八〇ヤード  
二五兩 二五兩 二五兩 二五兩

(八)棉フランネル 各種棉フランネルは米國、澳大利、比耳義、和蘭、英國、獨逸並に日本各國より  
輸入され居れり、即ち左にその比較を示さん

米品 二九、六六反 八二反 六〇反 二二、七五反 八七、五五反  
九〇、七三兩 二、八九兩 二、四六兩 六九、一四兩 一、三三兩

澳品 三、一五反 一、七九反 一、七九反 一、七九反 一、七九反  
一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反

比品 一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反  
一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反 一、八九反

● 湖 北 水 泥 ● 布 正 ● 棉 紗 ● 棉 花 ● 電 銅 ● 製 紙 ● 煤 炭

上海九江路A壹號  
五五路川四海上  
店支海上司公菱三  
(四六九二●二九一話電)

栗生洋行 經理 川岸 藤太夫

諸公債株式 定期現物買賣 取扱 有價證券信託

華總董 朱 葆 三  
華經理 李 經 方  
副經理 周 健 吾  
買辦 李 匯 東

上海九江路A壹號  
電話 貳〇壹六  
電話 貳六貳六



英國品	九、二五五担	二、〇五担	六、九八九担
香港品	八、一七二担	二、〇三七担	七、七〇七担
印度品	六、九四三担	五、五五担	二、五七〇担
日本品	二、四七六担	一、四四担	三、五五五担
右によれば印度綿絲の輸入高最も多く、日本品之に次ぎ英本國と香港と云ふ順序に在り			

(乙) 瓦斯絲

外國品	六五担	三担	六担
日本品	一、七四担	六担	七、七〇七担
瓦斯絲にては日本品殆んど獨占の狀勢にあり			

雜織物類

絹編木綿織物(日本品)	四、九一五担	四、九一五担	四、九一五担
石炭の上海に輸入せられしものは濠州炭、英國炭、ホングエー炭、日本炭ありそ			

石炭類

濠州炭	一、〇〇〇担	四、〇〇〇担	六、九八九担
英國炭	二、〇六四担	二、一六九担	二、一六九担
ホング	三、四四七担	二、四九二担	二、四九二担
日本炭	九、〇六二担	九、〇六二担	九、〇六二担
煉炭	六、六五五担	四、五七五担	四、五七五担
粉炭	二、七九九担	二、七九九担	二、七九九担

時事雜錄

正式内閣問題

大總統副總統舉定と共に正式内閣問題に實に支那政界に於ける最も注意すべき問題なり右に就き去十五日の東亞ロイドによれば現内閣總理熊希齡は或事を以て總統府と意見の齟齬ありしも這は已に消滅され熊總理の留任は疑ひなしとの斷語を下し、マキニョーは熊總理の辭職に關し諸種の風説を掲げ内閣の改造問題今に一定せざるも現内閣は出来るだけ長く維持され度きものなりと論結し居たり、更に當地漢字新聞の此問題に對する消息を紹介し讀者の參考に供すべし

留任説と改造説

所謂正式内閣問題に關し政界意見の岐る、所は熊總理を留任せしむべきか熊總理辭職して内閣を改造すべきかと云ふに於り即ち留任論者は曰く總統受職以前に於て國務會議内閣留任問題を議したることありし當時は之が決定を見ずして止むたるが其後總統は熊内閣成立後間もなきを以て別に改造の必要なしと爲し總理に辭意ありとするも總統は之を許すを欲せざるべし而して正式政府の成立は憲法發布を以て標準とすべし正式政府決定後雖も現内閣は辭職の必要なし云々同じ留任論者にして説をなすものは曰く正式總統就職後臨時政府の存立時期は已に過ぎたれば從前の閣員は當然總辭職して別に改造すべきものなるが正式政府は只内閣總理一人の去就にある耳時に趙秉鈞辭職後幾多の交渉と幾多の時日を費し始めて熊氏の就任となりたるが熊氏は承諾後閣員選定に時日を費せり即ち張謇の如き尙は未だ着任せず新内閣の政見をも未だ發表せられず辭職と云ひ改造と云ひ事實上何等議論の價値なきのみならず却て波折

錄々

南方の饑鬼其は政府が四苦八苦の末ヤツト承認まで漕ぎつけた苦しい立場も構はずに不相變似而非慷慨を列べてゐるから採れる手近い例が洮南鐵道借款説が出るがスグこんな事をホザいてゐる政府は承認しきよに人民の利益を犠牲にして日本に洮南鐵道を許すとは甚だケシからぬ、一體承認は人民に何の利益があるのか、列強が我國に金を貸して鐵道を敷かせるのは投資以外何等の野心は無い然るに東清、南滿の二鐵道は大に性質が違ふ其の線路の延びるのは日露勢力の浸潤である洮南鐵道を日本に許せば南滿洲は日本人に裏手をつけて進上すると同様だ日本に裏手承認にこれだけの代償を得て居る他列國の代償が恐ろしい、とはよくも言へたものじやタツタ今列國は野心なして投資するのじやない、無い金を工面して投資するのは侵奪でなく何だ、これは片腹痛い、イクラ袁君が日支の交は敦睦だとか國交を尊重し疏忽に涉るなど百萬篇を唱へても何の役に立つものかい日支親善などは以ての外じや、由來支那人には國際的信義もヘチマもない鄙しい國民だ其の外交を見ても分る昔から甲を引いては乙を制し、乙を恃んで甲を壓ゆるとは云ふ鹽梅で少しも自主の觀念や誠意が無い、そこで彼等が外國に對するには文明對峙と云つてポイコト以外には何等の手段方法も無い、だから之を金科玉條と心得凡ての場合に應用するからイマ( )しい、今度の昌黎案や借款案でもマ( )を孕ぎ出して居る、尤も支那人も不貞腐れの女郎と見れば世話はないが張勳を人道の公敵だハツ裂きにしても足らぬまで困いた本尊の江蘇人が今じや熱心に留任運動をしてるから可笑い、之れだから支那人はイヤになる、



生命保險界の明星

契約積立諸員當配  
約五萬三千八百圓  
立金五萬圓  
準備金八萬圓  
總額一十三萬三千八百圓

千代田生命保險相互社會

大倉洋行 代理店  
電話(八〇六) (二八八六)

此の際の御申込は便利にして最も好都合なり  
我が社の組織、株式會社の如く營利目的でなく保險契約者は即ち社員にして會社の主權者なり  
我が社の利益配當 目下毎年四分の配當を爲し居れり、生存中利益配當を受けながら萬一の場合は保險金を受取る事勿論なり

我が社の拂濟保險 我社の利益配當は毎年保險料より差引す、故に一年一年負担は輕減すれ共負担に堪へ難き時は拂濟保險として一時拂込を中止する事を得  
我が社の仕拂 我が社の基礎は最も鞏固にして仕拂は最も敏速也、創業以來未だ曾て保險金仕拂に故障起りし事なし  
申越あらば直に贈呈御





備用する場合に鐵道局は鐵道費目より俵給を支出すべし支那の材料及已に支那製造の材料にして質料共に英國其他外國の物と相同じければ先づ支那の物を購買し支那工業を奨励すべきものとす。鐵道完成後鐵道局が外國材料を購買せんとするには先づ公司購買係に向つて購買せしむべく其方法に就ては嗣後雙方の相談に譲ることとなす。

▲第十九條 本契約内の鐵道は支那政府將來有益とし又は必要と見、本鐵道と聯屬せる支線を布設し或は本線を延長せんとする場合には支那政府より支那の款項を以て自ら布設すべし若し外國資本を用ゆる場合あらば先づ公司に引受けしめ其里數長短は支那政府より之を定むものとす。

▲第二十條 該公司是債務を執掌すべき受託人を定む今後該鐵道局と公司間に借款交渉及借取に關係せる別事あらば即ち債券執掌の代理人として之を處理するの權あるものとす。

▲第二十一條 此借款契約調印後募集見積書未だ發せざる先きに若し大局に關係するか或は金融格外の事あり支那政府現在市場債券價格に得あり今々の借款はして章程に按じ處理し得る場合あらば公司に之が處理延期を許す惟雙方明定せる延期の限に至り仍は處理し得ざる場合には契約を廢止す、支那政府は本契約第三條に照らし規定せる前渡支拂及之に要する利息の外他項の報酬を給せず。

▲第二十二條 (千八百九十九年一月六日即光緒二十五年十一月二十五日) 前清時代に所定せる本借款契約内に本借款正契約條款は滬甯鐵道借款正契約條款に按じ訂結せるものに係ることあるが其滬甯鐵道借款契約書第十二條には年利元金返済及各項行車等の經費を除く外鐵道の

得たる餘利の五分の一は公司の所得に歸す即ち鐵道資本の總數五分の一に照し餘利を給し債券により借款引受けの公司に交與すことあり因りて公司是此項の權利を讓る代り公司に此借款債券發行項より十二萬磅を引き残すこと、而して其引殘の法は借款募集見積書に按照し之により登錄されし公債買入人に交付し其渡すべき金額期日は前以て之を決す但し此借款に于し續借する場合あらば再び之に抵つべき餘利の金を給與せず。

▲第二十三條 公司是本契約に有すべき權利及責任全部若くは一部を他の英國公司に交與し接辦せしむるが乃至は其の代理人に渡し代辦せしむるが何れにせよ其引繼及び代辦の事は督辦と交渉し其允許を受くるものとす。

▲第二十四條 本契約は中華民國二年(即ち千九百十三年) 月 日國會の通過を經由し又大總統命令に遵つて調印し外交部より公文を以て駐支英國公使に照會したる上有効なるものとす。

▲第二十五條 本契約は英漢文各四通を以て作製し支那政府に二通公司に一通を存することとし若し文義疑ふべき點あらば英文を以て標準となす(完)

▲第二十六條 本契約は英漢文各四通を以て作製し支那政府に二通公司に一通を存することとし若し文義疑ふべき點あらば英文を以て標準となす(完)

旅滬商務聯合會名簿(二)

評議員名簿

姓名	籍貫	商號	職業	住處
曹及之	常德	吉康	段物棉絲	信昌隆
美興	九江	廣發	雜貨	人和
董鳳	沙市	廣源	雜貨	太古祥
朱壽臣	沙市	太古祥	雜貨	人和
張福先	漢口	福記	雜貨	履康
汪少欽	漢口	江源和	雜貨	同益公
汪錦舟	漢口	慶源厚	雜貨	同益公
曹興卿	漢口	盈豐泰	雜貨	春江里
吳長玉	漢口	巨成源	雜貨	同益公
汪美田	漢口	信和祥	雜貨	太平坊
李明甫	漢口	德潤康	雜貨	太古祥

顧純清	漢口	履豐恒	雜貨	太古祥
曹松泉	漢口	寶宏記	雜貨	太古祥
張雲卿	漢口	錦綸	雜貨	太古祥
李清泉	漢口	致和祥	雜貨	太平坊
韓幼亭	漢口	錦綸	雜貨	同益公
徐安亭	漢口	黃志成	海產物	太古祥
鄧清泉	江西	同慶祥	雜貨	信昌隆
李萬亭	江西	李祥泰	雜貨	信昌隆
馮酌亭	江西	廣正興	雜貨	信昌隆
徐若浦	長沙	徐九大	雜貨	信昌隆
吳南浦	湘潭	怡慶	雜貨	信昌隆
成陶華	湘潭	錦綸	雜貨	太古祥
歐陽壽亭	常德	吉大祥	雜貨	信昌隆
孫運甫	常德	義豐泰	雜貨	信昌隆
劉萬卿	常德	錦綸	雜貨	信昌隆
任乙之	四川	德義生	雜貨	信昌隆
石青齋	四川	聚興泰	海產物	安餘棧
王俊才	四川	元豐昌	海產物	太古祥
秦晉伯	長沙	泰昌順	雜貨	復和
陳榮泉	長沙	介福昌	雜貨	信昌隆
吳光華	長沙	吳光記	雜貨	復和
徐福祥	長沙	汪吉記	雜貨	復和
汪吉記	長沙	汪吉記	雜貨	復和
海平增	長沙	永安福	雜貨	湘益公
歐陽玉生	長沙	裕康	雜貨	湘益公
劉海清	長沙	德厚祥	雜貨	湘益公
鍾福生	長沙	仁記	雜貨	湘益公
彭澤生	長沙	裕記	雜貨	湘益公
張春和	長沙	隆慶祥	雜貨	永益公
郭登廷	長沙	恒昌	雜貨	永益公
劉憲我	長沙	協成	雜貨	太古祥
劉風和	長沙	永豐海	海產物	太古祥
張春廷	長沙	乾德	海產物	益新里
曹晉記	江西	福慶隆	海產物	太古祥
鄧星垣	江西	李昌祥	海產物	太古祥
吳序東	江西	祥記	海產物	長源泰
金耀文	江西	志成	海產物	永安街
李小山	江西	福隆公	輸入業	永慶里
鄧星滿	長沙	同源亭	雜貨	新昌里
劉友生	江西	萬記	雜貨	信昌隆
曹瑞麟	江西	曾德記	雜貨	信昌隆
包竹叶	江西	四合泰	雜貨	信昌隆
胡來生	江西	怡盛祥	雜貨	長源泰

金寶安	江西	鴻興合	金物商	南河
夏玉峰	安徽	盧陽公	砂糖雜貨	棋盤街
程汝年	蕪湖	同慶祥	雜貨	復和
程定邦	蕪湖	生記	雜貨	復和
汪吉記	蕪湖	致和祥	雜貨	新源昌
汪吉記	蕪湖	復昌恒	雜貨	信昌隆
汪叔和	蕪湖	復昌恒	海產物	太古祥
王壽祺	蕪湖	復昌恒	海產物	太古祥
劉廷輝	蕪湖	劉廷升	海產物	長源泰
孫運芝	蕪湖	陳生和	雜貨	復和
王益如	南京	湯泰和	雜貨	信昌隆
曹子惠	南京	德泰	雜貨	人和
曹級三	南京	王永大	雜貨	京江
鄧慶發	南京	源豐水	雜貨	信昌隆
馮壽如	南京	德源	雜貨	廣雲里
王慎軒	鎮江	裕昌	雜貨	九如
馮國欽	鎮江	協隆	雜貨	祥發公
陶國亨	鎮江	新義和	雜貨	祥發公
程厚夫	鎮江	裕康祥	雜貨	祥發公
沈子軒	鎮江	鈞記	雜貨	祥發公
程克成	鎮江	李克記	雜貨	祥發公
李小山	鎮江	鼎新	砂糖雜貨	永安街
沈實慶	鎮江	通源	雜貨	京江
史應南	南京	史應記	砂糖雜貨	鼎新洋行
張沐清	通泰	張沐記	砂糖雜貨	協昌
王寶吉	福州	三山會館代表	福來棧	
黃伊傳	福州	黃豐記	輸出業	福來棧
陳月村	福州	陳萬亭	輸出業	德錦里
黃十禧	福州	黃現記	輸出業	德錦里
海源記	濟甯	德義	雜貨	祥發公
徐明賢	濟甯	義聚	雜貨	祥發公
張子昌	木埠	源昌	金物商	自浦路橋東首
張友梅	南京	茂德	金物商	潤昌棧
宋文國	南京	宋文記	雜貨	瑞記開行

大連上海間輸出入表

大正貳年六月中的大連、上海間の貿易の概要は左の輸出入表の示す通りにして之を前年同月の分と數量比較し置けり

品名	輸 入		輸 出	
	本月	前年同月	本月	前年同月
品名	五	五	八、三六一	一、七四
鐵道材料	二六五	四二	一、五〇二	一、七四
木材	二一	二	一、九七	一、七四
石炭	二	二	一、九七	一、七四
煉瓦及瓦	四	三	一、九七	一、七四
鐵鋼製品	三五八	一一八	一、九七	一、七四
原料鐵	三四	二四	一、九七	一、七四
其他金物	二四	二四	一、九七	一、七四
機械器具	二二	二二	一、九七	一、七四
米	二九一	五九	一、九七	一、七四
穀類	四二	二四	一、九七	一、七四
麥粉	一、三八六	三一四	一、九七	一、七四
砂糖	一	四七	一、九七	一、七四



於て就任す凡ゆる京外文武各員は均しく  
舊に照らし供職を命す

免新疆國稅廳籌備處長  
任蘇五屬運道局長

任蘇五屬運道局長  
任蘇五屬運道局長

授陸軍中將 石星川、金永炎、姜古元  
任重慶通商交涉專務條件 重慶關監督 顏錫慶

(以上十月十五日)

●亂黨嫌疑の免究 亂黨内亂の爲め東  
南省は殆んど收拾すべからざる有様と  
なるが之等亂黨に對しては先後通令  
にて究辦すること、せし各處附近の徒  
ら正式政府成立後の今日甚だ遺憾な  
るは各省都督民政長に命じ前記に首魁  
及び謀反に附和せるものを拿辦するこ  
とを以ての罪を悔ひ自許するもの並に内  
亂嫌疑者に對しては情狀酌量し免究を與  
へしむ若し此通令以後尙ほ陰謀不軌を  
圖るものあらば發覺少しくも假借す法  
に按じ懲治す

授勳五位 黃士龍 錢能訓 吳炳湘 王治馨

任內務次長 任京師警察廳總監 任順天府尹

●四川軍人の賞 川督胡景伊の電請に遭  
り連徒熊克武の指令に從はず慘害に遺  
る第一師團長吳成禮に對し特に陸軍中將  
の例により優卹を與へ且つ治喪費三千元  
を給し同人の忠烈を表示す

任陸軍中將 任陸軍少將 王天縱 金萬福

(以上十月十六日)

### 各地通信

●湖北興國府より 福田生  
拜啓小生店用にて目下當地に滞在能任候  
が數日前水路新州に參り其對岸漳源口よ  
り太子廟を経て再び當地に歸り候此邊一  
帯は寺廟、茅、綿の畑のみにて太子廟等  
興國重慶、二十四清里間は九頂山庫牛山等の  
山岳重疊、路阻せられ宛小蜀棧の景に御  
坐候而して此間橋にて九時間を要し申候  
此等の土地は寺廟と棉花を以て生活する  
所なるに今年舊五六月降雨なかりし爲  
め麻は二三番共不作にて大分影響せる  
模様にて御坐候、興國縣の名は巖石層々た  
るの故を以て名づく申す、鐵山に參り

蘇東波の筆跡と傳へらるる、「鐵壁」の二  
字を印せる岩石を見物致し候金山岩若石  
より成り籠に廟あり好個の景に御坐候  
も別に珍奇には申されず候此山より鐵礦  
を産する由に候が現に小生の姿を見た  
る一支那人は鐵礦を買はないかなと話し見  
本をも持來り候、興國の町は人口二萬高  
稱するも餘り繁華にも見受け不申候而し  
て日本人に對する感情は頗る宜しく被思  
候 草々(十月二日)

●哈爾濱より 世良二一  
記者足下  
滿洲特産物の大豆たる大豆は前便の通り  
營口地方不作、開原地方も同様旱魃にて  
面白からず、而し之より北するに從ひ作  
柄良好長春地方は先づ平年作なるべく北  
滿一帶は平年作以上なりと傳られ居り候  
矢張り滿洲は大豆の國に候、而し近來甚  
だ起色ある者は南滿各驛の市場に於ける  
綿布、綿糸雜貨等の内地賣行盛大にて各  
日本大商互に腕を限りに競争仕り居り候  
やがては滿洲も輸出人も重要な市場  
と相成るべしと存候 (十月四日)

●漢口船中より H O 生  
川漢鐵路技師長斐克羅斯の辭職は先日の  
申報によれば家事上の都合とありしが支  
那人側の言によれば技師長は且つ濫費多  
きを以て不結果に終るべしと惡言を放ち  
居れる由なり河南の白狼徒は或新聞には  
襄陽内に包圍せられつゝありと報するも  
他の情報には討伐に向ひたる一隊逆まに  
該徒に降服せり云ふ (十月十一日)

●漢口より S N 生  
一昨夜歸漢申候、過日南京遊歴中は一方  
ならぬ御芳情を辱ふし厚く御禮申上候、  
當地近來無事に候へ共河南は例の白狼黨  
跋扈して白晝強盜匪賊の横行容易ならぬ

### 禹域鴻爪

●甘肅省城蘭州にて 吉村生  
安定を發し行程四日にして十四日久し  
く夢裡に畫きし甘肅省城蘭州に安抵仕り  
候、沿道一面の煙草畑には驚かされ候  
本日民政署秘書黃英氏(日本留學生)  
の紹介にて張都督に面會致し候、都督は  
白髮尺餘六十一の老人眼光炯々其器業  
りと畏れられ申し候、歸路大務司長の業  
氏を訪問、氏は早稻田大學司長の卒業  
業、年齒三十二歳と言へど色白の美少年  
に候、日本語に巧にて頗る賑ひ申し候  
明日は城郭の五泉山に遊ぶべく候、此  
處よりは蘭州平野を一眸の裡に収むる事  
を得眺望實に佳なる由に候、

煙草の勢力は非常なるものに於て英米煙公  
司の發展は驚くの外な候、只珍らしく  
思はるゝは皆て村井兄弟商會より賣り出  
したるビロコック(孔雀印)のある事に候  
是は英米煙公司が其の商標を引き繼ぎて  
賣り出し居る由に候て此地にて第一の賣  
行き好きものに候

當地の貨幣は數百枚の紙幣を市内に通  
ずるのみにて候は殆ど文錢にて九百文が  
即ち一吊文にて候 (九月十六日)

●同上 立石生  
前略小生等六盤の險を越へたるは九月  
一日、丁度甘肅の雨季にて連日雨の爲め  
に道路泥濘と化し閉口致候  
平涼蘭州間最も山道多く旅行者の最も  
困難を感ずる所に候、去る十四日省城に  
安着、海を去る千里の所に在り候も省城  
だけありて思ひしよりは開けた所に候、  
それもアンプ、捲煙草、洋酒があると云  
ふ位に候、殊に當地の西瓜は其の大き頭  
の三四倍も有之大に我意を得申候  
(九月二十日)

### 品質精撰

- 醫療用藥品
- 醫療用器械
- 醫療用繃帶材料
- 理化學用藥品
- 工業用藥品
- 玻璃藥瓶各種
- 諸大家賣藥各種
- 美容化粧品各種

諸大醫藥房 調劑處 御醫處

濟生堂大藥房

電話一五二六

上海西華路文角

湖北省宜昌にて 長江生

九月二十三日荆門を發し重山高嶽を踏破し當陽縣を過ぎ同二十七日當地に着仕り候、秋風風々々るに征衣の薄きを覺

當陽縣にては英雄關羽の墳墓を奠し、金屏山上りて曹操の奮戦し跡を觀、遠く二千年の昔に懷を馳せ候へば感頗り

當地にては東山寺に登りて眺望を擅し三遊洞に遊びては心神を洗ひるの上張飛の舞臺と云ふに上りては古の壯士を偲び元氣を鼓舞致し候、

宜昌城頭に立ちて西を望めば楚西の連山紛糾して所謂巴蜀の關門を爲し居り觀至極に候、當地の通商港としての價値は世の知る所生等の發達を要せざる可候

(十月一日)

陝西漢中府にて 保木本生

祝山を出て、より二十日許り一日の青天を見しみにて誠に棧内の愚夫日に吠ゆるの状有之候、棧道は氣候秋の如溪を涉れば足凍ん許りに候、或は風箏の雲に迷ひ或は紅葉山の暗に震ひ、台廟子の雲侯祠に仙氣を吸ひ、寒凌夜渡る蜀道の危

橋に蕭何、韓信を追ふの古を偲び漢水上流地は氾濫大半に及び棧道を破り濁流古偉人の苦心を洗ひ流す様を見ては足戦くを覺ら申候

當地は學事餘程整頓致し居る様に候、且つ日本留學熱甚だ高きは留學界の先輩が要路にある故立斬、到の所榜示にて「速快聖德、違者存斬」式のものゝみにて禁煙の苦難なるを文字上にしと思はしめ候も阿片が盛に用ひられ居るにも驚き入り候

陝西省は目下平穩に候、西安より四川

湖南衡州府にて 野村生

衡州府より貴意を得候、當地は人口拾萬に達する大都會にて日本人二名外人十數名居留し居り候、銀行は湖南江西興業

銀行等々之他錢舖等を合すれば三十餘個に達すべく候、斯の如くに候へば商業はや、繁盛致し居り候

昨年及本年の兩年は米作不佳、府廳の財政は窮境に陥り府議會は之を救濟策に苦心致し居り候、縣知事は東三省に居りしものゝ由にて日本に遊びし事有之

京政府派の様に見受け候、市内にて右銀行の發行の紙幣の外工發局及び其他二三の商店より發行せる紙幣流通し居りて種類複雑し居り候

(十月一日)

雜報

南潯鐵道株主大會

南潯鐵道國有問題

江西南潯鐵道國有問題に就ては敢取へす三十五號を以て報道す所ありしが更に之に關する該鐵道第七回株主大會の模様を詳記すべし蓋し日本と尤も關係ある鐵道なればなり

該株主大會は九月二十八日南昌に於て開かれ葉漢推選されて開會の主旨並に報告を述べ終り乙趙宣撫使を臨時主席に舉げ演説せしめたるが趣は曰く今日提議する所の國有私有的の兩問題に對し余は株主に

余を推して主席となしたれば故て冒昧進言する所あるべし、余の意見にては交通部に引渡すに如かずと思ふ、元來本鐵道は今回の亂黨の爲の戦線中に這入り其損害淺からざるが國家は民苦を思ひ地方を救ふ爲め必ず巨金を支出し居り工費すべく全線爲めに速成を期し得べし諸君或は余の言を陋となさざれば尚ほ之が手續に就

き研究を要するなり又過日華再雲氏と談

江西全省の金融逼迫に及び此の如きは結局交通不便の然らざる所なれば南潯鐵道(南昌萍鄉)を布設しては如何にと語りたることありしが地方疲弊せるる今日之を實行するには借款に頼むの外策なきなり既に然りとせば借款は白耳義に向つて交渉するを可と思惟せり何となれば同國は野心なき國柄にして其國の銀行も亦志は利を得るにあり決して我が鐵道權を侵す憂ひなければなり、余は白國資本家との連絡を取るに對し盡力すべし云々、

次に維新山は營業報告をなし且つ曰く東亞興業會社は向に正式契約上全線の材料物業は悉く抵當品となり居るが今次の戰亂にては必ず損害多かるべく其損害高の報告を要す」と質問し來り且つ交渉上總理の上海下江を要求せり而して其意は約二種となす(一)東亞興業の債務を保全すること(二)日本技師を入れて工事を督する事(三)日本本技師を監督を置き債權を保全すべき事(四)條件を要求したるが余は事重大なるを以て專權に調停せざりし云々

に着手し完成するを得ば徐家埠より先は船運の便により材料を運搬するを以て敏捷に遂行し得べしと云へば衆皆之に首肯し結局吳總理を北京に派遣し親しく中央政府と交渉せしむること並に技師長の選任を吳總理に一任することに一決し散會せり如上の事實に視て南潯鐵道の將來に於ける我國との關係は李烈鈞時代の反動を以て益々疎隔の一方にあるを看取るに足るが趙宣撫使自身大會の主席に就き演説せる文句中白國借款をなすに當り盡力すべしとの一語は殊に注目すべき現象と云はざるべからず而かも李督軍輩も亦北京にありて頻に白國借款を德恵し居れり云ふに至りては全然日本との關係を絶つる意味ありと見做すも蓋し疑ひの餘地なかるべし借款政策の變更せられたる今日、我國の企業家は之に對し如何なる方針を採らんするか、江西の一角豈に輕々に看過すべけんや

正式總統就任と同時に支那を承認するに當り日本が爲の外交部の勞を取り且つ最初に通過せるが爲の外交部は之に就き七日附を以て黎副總統、張、馮、李、倪、張、朱各都督及特派交渉員に對し左の意味の電報を發したり

●承認日支の好感情  
今回正式總統舉定され各國が一致して承認したるは袁總統の威望と各支那の情仰に徴するに足る、日本駐京山由公使は承認の一事に就き頗る盡力をなし各公使の間に周旋し昨夜舉定後最初に本部に通告せるが殊に感佩すべしなり願くは此意を各各一般に知らしめ前嫌を釋かしめ、總統の特命なれば御注意あり度し云々

此通電發表せられたるが爲の兼ねて日本各新聞は一齊に日本に對し好感情の表微とも見るべき記事を掲ぐるに至れり然れども尚ほ衷心より日支關係の密なるを解せざる節あるは甚だ遺憾なり

▲福州日報  
は中日邦交の將來を題して曰く、南京舉國軍備の發生と日支兩邦人士の議論々々として特に感嘆せんが如き有様なり且つ之につき山陰公使外交團中ありて特

法界呂班路三三三

純牛愛  
良乳光社

電話貳壹七五番

三府四十三縣  
各地名產物

美味珍菓

御贈答用に好適

名物屋

旋するは露商の邦こして四より尋常の友邦に比し  
 親密なるを維持するに足るべく共に小忿を擧げて東  
 亞の大局を維持するに難からば然らば今後支支兩  
 邦の交通の日に密切に至るの必然なり

▲大共和日報 は中日親交の狀兆と題  
 して曰く、江西南京の事以來日本派入は黃興、  
 陳其美を暗殺するあり南京馬廠兩事件を繼いで起  
 り屠戮相繼ぐの形勢離離し誠に入東大局の福に  
 ありと云ふに今や日本は正式統帥運出の時に第一  
 に承認せり而して承認の後支支兩邦の睦好は即  
 又通達せり而して世を辭す支支兩邦親交の好機  
 にあらずと云ふべからず、夫れ我國の勢が盛んな  
 るの日本を以て荷く故支支兩國の間に於ての中  
 民國と相提携すれば獨り支支兩國の幸のみならず  
 抑も亦世界平和の幸なり

●地方官の俸給と公署經費  
 支那地方官の俸給並に公署經費は已に  
 國務院の議決を経たるが今其内容を示せ  
 ば左の如し

●都督 直隸、山東、奉天、江蘇、湖北  
 廣東、四川、雲南八省の俸給手當 一四  
 ○、四八四元 公費 三八、〇〇〇元 雜  
 費 四一、五〇〇元 合計每年三二、〇〇〇  
 元 吉林、黑龍江、安徽、江西、湖南、福  
 建、浙江、廣西、陝西、貴州、甘肅十一省の  
 俸給手當 一、二八、四八四元 公費 三  
 四、四四〇元 雜費 三、七〇〇元 合  
 計每年二〇、〇〇〇元

●民政長 民政長二月俸八〇〇元  
 司長八月〇〇元 秘書長科長技正 各二〇  
 〇元 科員技士 各一〇〇元 一等公署  
 二技士 秘書長十三科長四十三科員一技正  
 四技士 秘書長計一三三、六〇〇元 二  
 等公署二司一秘書長十三科長三十三科員  
 一技正二技士 每年合計一一、六〇〇元  
 元 公費電報調查雜費 每月六、〇〇〇元  
 元 筆墨交際僱員每月四〇〇元 役食  
 每月四〇〇元 合計每年一一、二、八〇〇  
 元、(二等同)

●觀察使 觀察使 月俸五〇〇元  
 秘書科長技正 各一〇〇元 科員技士  
 各五十元 一等使署一秘書長四科長十六科  
 員一技正二技士 每年合計二四、〇〇〇元  
 元 二等使署一秘書長四科長十二科員一  
 技正二技士 每年合計二一、六〇〇元  
 三等使署一秘書長四科長八科員一技正二  
 技士 每年合計一九、二〇〇元 公費電報

●江蘇省民の張勳挽留  
 本月初め江蘇南京被難民四十餘名は聯  
 名して大總統に對し張勳を轉任せしむる  
 ことの噂を聞き張去らば我徒は隙を伺は  
 ざるべからず南京人は再び水火の厄に遭は  
 ざるべからず南京の意見を以て張勳挽留の  
 請願をなし蘇州鎮江地方の紳士教育農商  
 各界も亦電報にて張勳留任の請願をな  
 したるが北京巡警廳は如何なる考へあり  
 て之を一般に發表したるか世人の疑惑を  
 招き居れる其先矢最近又復た馮煦、  
 朱壽鏞、惲祖祁、魏家驊、李厚坤等の江蘇  
 省紳士は張勳の功を賞し彼を去る彼の  
 國家の干城たる所以を知らざるものなり  
 是し是非ざるも張勳を挽留せんことを請願  
 する旨大總統に向つて電報を發したり而  
 して更に南京商會の方にて張勳挽留  
 の運動頻りなりと傳へ居れり當地の時事  
 新報は此事に關し這是張勳が商會に連事  
 せるが爲めにあらざれば商會は南京被難  
 の損害賠償を要求するに必要上雙方の交換  
 問題とせし居るならんと猜し且つ南京商  
 會に對し此消息の實現なきを希望するの  
 意を仄めかし居れり要するに南京事件終  
 了後の今日に至りては今更ら張勳に對し  
 彼此云ふるは何れも私心ありての事  
 に張勳の功德を頌するも彼の行爲を誹謗  
 するも其揆は一なり然るに右惡照其の他  
 の人々は未だ之に署名したる事なしとの  
 説もあり、茲に疑を存し後日に其の確否  
 を見んと欲す

●捷成洋行借款の善後處分  
 今般前清上海道劉襄孫が捷成洋行よ  
 り信成、興業、四明、大清の四銀行及び招  
 商局、源豐潤、裕泰、裕源、李平書、  
 周金鏡、劉學淵、虞洽卿、晉益升の物品  
 (地券株券其他) 百三十六件及び滙軍公  
 債票四萬一千兩を凡て抵當として借り入  
 れたる借款は去年十月當時上海に在りし  
 熊希齡は袁總統よりの命にて前交使陳  
 貽範と共に捷成洋行に交渉し一ヶ年間延  
 期せしが今や再び其の返済期限に達せし  
 めて江蘇民政長韓國鈞は頃者熊總統長  
 に電報して上海にある捷成洋行借款の抵  
 當品は如上の人々に關係せし結果は利  
 息を附して交渉せざれば俄かに物果をつ  
 け難かるべく至急との關係を明らかにし  
 て清理し各關係人の負担額を精算し時  
 日を限りて償還せしむる事にし若し期限  
 まで償還出來ざる際は政府より若し抵當  
 品を競賣に附するか或は他に再抵當に入  
 りて本借款を返済せられたる旨通電し同  
 時に武維周、沈耕萃の二人を本件調査兼  
 清理委員として來滬せしめたり

●南北兩市之銀行設立の議  
 上海は先年護謄様の流行し第一回革命  
 に繼いで第二回革命あり此等數回打撃の  
 より最近四年中大約一億萬元以上の損害  
 を蒙りたるに相違なく若し此儘に放任し  
 市場救済の方法を講求せざれば到底挽回  
 の期なしとの當地南北兩市の支那商人は  
 去十一月一日に關する意見書を草し當地總  
 商會に向つて提出したる由なり其内容に  
 よれば市況救済法は第一金融機關に手  
 着けざるべからず、之に就き商會は中央  
 政府に對し五百萬元の資金を借り受け一  
 の商業銀行を設立し有名にして信用ある  
 實業家を選擇し各商人の金融取引に便し  
 て外國商人の操縱手段を行ひ難からしむ  
 るにありと

●支那海軍の艦隊編制  
 上海駐在海軍總司令李鼎新は兼ねて艦隊  
 編制に就き考究中なりしが此の程に至り  
 次第編制成りしを以て全國の重なる軍艦を  
 次(の如き編制)に分ちたりと云ふに之を  
 示せば

- ▲第一艦隊 海圻 海容 海籌 海琛 飛霆 南琛  
 永登 永翔 鳳凰 伏波 飛雲 騰龍 舞鳳
- ▲第二艦隊 建安 建威 江元 江亨 江利 江貞  
 建泰 建威 建寧 建康 建寧 建寧 建寧
- ▲第三艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第四艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第五艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第六艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第七艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第八艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第九艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧
- ▲第十艦隊 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧 建寧

●倉庫無貸期問題の其後  
 無貸期短縮問題に就ては已に前號に報す  
 の所ありしが其後船會社側にては去十三  
 日華商維持會に向ひ公文を送り雙方二回  
 の會合を爲したるも遂に同意を得る能は  
 ざれば雙方より伍廷芳氏に請ふて之に對し  
 ては如何との意味を申込みたり之に對し  
 て維持會にては各客商と相談せる結果何  
 れも此問題に關し公斷人を請ふる理由な  
 きを云へるを以て會社側の申込を拒絶し  
 同時に情誼を顧み舊規則通りとせば事は  
 一言にして解決すべく若し舊規則を變更  
 せば客商は免れ必す別に對抗方法を講じ  
 營業の損失を免れざるべからずとなし三  
 週間内に回答を與へらるべ度旨回答せり

●招商局の損害要求  
 今次の事  
 變の爲め招商局の船舶にして亂黨に使用  
 されしもの六七隻に達し其他營業中止の  
 爲めに蒙りし損害等を合し一百餘萬兩に  
 上るを以て該局は中央政府に向つて支那  
 航海業維持上相當の補助を要求すべしと  
 の動議取締役間に提出され居れるが何れ  
 常會を待つて此案を提出する豫定なりと

●總商會の商法  
 今臨時政府終り  
 正式政府となりたれば各地の商會も亦之  
 により精神を刷新するの時期に達したる  
 を以て過日當地總商會は速かに商法を制  
 定し前清時代の暫行商法の不備に因却せ  
 る點を補救せられんことを北京工商部に  
 打電要求する處ありたりと

式一本製并刷印諸



號六三八一話電 路浦乍海上

**●香取丸の初航披露** 日本郵船會社新造汽船香取丸は歐州航路用として長崎より去十五日當地に來着したるに該船を觀覽せしめ内外人多數を招待し該船を十七日香港に向つて出發せるが該船は郵船會社所有船中最大なるものにて其總噸數一萬九千噸、速力十八節、長さ廿五百呎、幅六十呎、深さ三十四呎、機關はレシプロエンジン、タービン式にして船客に對する設備は至れり盡せりにて一等客を特別室普通室及家族室に分ち寢台百十二、二等寢台五十六あり特別三等十八、三等百八十六人を收容し得る組織となり居れり

**●邦人逮捕事件の解決** 武田雄忠、北嶋末雄の兩名は安徵討袁軍を助したりとの嫌疑により九月十三日租界外なる南陽里に於て支那警察廳に逮捕せらるる十四日鎮守使より日本總領事館に引渡ありたる事件に關しては當時有吉總領事より支那當該官憲に對し本邦人を逮捕拘禁したるは不法なりと厳重なる抗議を爲し爾來交渉中なりしが去る九日滬滬水陸警察督辦蔣鎮冰は公式に有吉總領事を訪問して右不法行為を陳謝し次で張特派交涉員より書面を以て支那官憲の謝罪(一)當時逮捕したる探偵の處罰を承諾し(二)武田の醫藥金を送付し來り本件に於て刑罰事件により罰金を處せられたるに於て刑罰を降したる事發覺し退支處分に處せられたり

**●浦信鐵路借款案の通過** 北京電報によれば浦信鐵路借款案は去十五日の衆議院に於て第二續會を通過したりと

**●公私人消息**

●島房義氏 氏は去十二日近江丸にて來滬し當地正金銀行津山氏の後任となり  
●パンス中佐 久利、當地義勇隊司令官たりし同中佐は任滿ち去十七日香取丸にて英國陸軍に復歸の爲の出發したり  
●兒玉源次氏 當地正金銀行支店長なる同氏は十八

日出發瀟江、漢口より北支那滿洲を経て一時歸朝  
●陸谷直道氏 漢口大倉洋行支店長なる同氏は歸朝の途去る十三日來滬、十四日發の近江丸にて歸東し支那に來るべし  
●シモス、ロック、ハート氏 威海衛太守なる同氏は英國支那艦隊司令官シモス中將と艦隊旗艦アラクラー艦にて、日本に向ひたるが本月末頃歸任の途上海に來るべし  
●アレキ少佐 上海義勇隊に新任せられたる同少佐は去る十三日滬滬汽船神丸にて來滬し當地義勇隊少佐としてウイリス會社の專務取締役なる 同氏も少佐として同行回滬なり  
●石崎良二氏 愛光社の同氏は去十五日の香取丸にて母安令妹高橋茂氏夫人同偕同里  
●伊忍郎氏 駐在香滬總領事なる同氏は去十五日香取丸にて寄滬同船にて在地に向ふ  
●飯田邦彦氏 曾つて正金銀行員として漢口交北京各店に在りし同氏は、去十五日の香取丸にて來滬し東亞銀行に投宿 新支那派選隊司令官たりし氏は去る二十一日來滬の途  
●補佐孫郎氏 經理局課員一等主計なる氏は去六日來滬陽陽投宿  
●別島儀太郎氏 旅順支那海關ありし海關附帶辦事に去十七日櫛丸にて來滬同後新任地鎮江に向へり

**●上海港出入統計**

本月十日より同十六日に至る一週間中上海に出入せし内外汽船の總計は百九十九隻、三十二萬四千三百三十二噸にして内入港船舶は百〇六隻、十七萬九千四百八十八噸、出港船舶は九十三隻、十四萬四千六百四十四噸に上る、其詳細は左の如し

英國	四五	八二、二五〇
日本	二二	四五、〇八九
獨逸	二七	二八、三二〇
露國	五	一一、二五八
佛國	二	二、五〇三
瑞典	二	七、四四七
暹羅	二	一、三三三
那威	一	一、三四四
米國	一	一、三四四
合計	一〇六	一七九、四八八
英國	三八	五七、九〇五

日本	二二	三八三三〇
支那	二六	二八六四八
獨逸	六	一一三二八
露國	一	五九六
暹羅	一	三二六二
瑞典	一	三、二三五
那威	一	一、三四四
和蘭	一	五五五
佛國	一	三、七八二
合計	九三	一四四、六四四
總計	一九九	三三三、四二二

**●郵船進出在庫品** (日清の品名をも)

品名	數量	前號比較
印度綿絲	四、三四八	△、五〇一
綿絲大俵	一四、〇七八	△、一三九
綿絲小俵	四、三〇九	六六一
金巾(雙包)	一、八八二	一、八八二
金巾(單包)	七、七五三	△、一八九七
燐寸箱	二、七六一	八六八
白糖	三〇	三〇
白粉	二四、一九六	三、九〇八
麥粉	二七、四五五	一、七七〇
昆布	二、二二二	△、二四〇
切昆布	一、七九五	八三
フランネル	二、二二七	△、八九五
茶	二六	二六
雜貨(箱)	九、二九一	△、二五五
雜貨(包)	六、五七五	△、二五〇
九江紙	六、〇一一	△、〇五
紙	一、九八三	△、二三五
洋紙	三、八七	△、二二〇
舊鐵	四、九一九	△、一九
鉛	七、七	△、七二
銅	一五、三六〇	△、五、五一九

得莊網章九老海上



西曆壹千九百拾年  
白耳義國ブラッセル

敝號は開店以來五拾有餘年、相成り品質の優秀と價格の低廉なるを以て内外人士より多大の御愛顧を蒙り居り候既に去る西曆壹千九百拾年白耳義國ブラッセルに於て萬國大博覽會開催の節は敝號より各種の織物類を出品致候處上掲の如き優等名譽褒狀を受領仕候以來業務の發達と共に貴國の當地在留各位より一層の御引立に預り候段本深謝候目下敝國各種織物の原價も一般騰貴致居候得共今後は現命販賣に致し從來の通り價格低廉にて御取引申上候のみならず品質も精進の上不均多品質用命に應じ申候間不相變御愛顧御引立の程偏に奉願上候

萬國大博覽會  
優等名譽褒狀受領

支那產各種吳服商

**老九章吳服店**

支配人 呂葆元

上海英界棋盤街五〇二  
電話三一六九番





